

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅周辺地区まちづくり推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	令和2年度 ~
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	コロナ禍の影響により、民間事業者の開発意欲が減衰傾向となるなど、経済情勢の先行きが不透明な状況である一方、分譲マンション等の建設が進んでいる。このような中、加古川駅周辺地区の全体像や公有地の具体的な活用方法などを改めて検討する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	JR加古川駅北口の低未利用地の利活用、駅周辺の回遊性の向上、滞在人口の増加、さらなる賑わいの創出
対象 ※誰、何に対して	加古川駅周辺地区
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	「加古川駅周辺地区まちづくり構想」に基づき、駅周辺地区の全体像や具体的な機能配置を検討するとともに、市が所有する加古川駅北土地区画整理事業31街区1画地(以下、「31街区」という)を含む駅北口エリアの土地活用を図る。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	07 企画費
細目	105 加古川駅周辺地区まちづくり推進事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>令和2年度に31街区の利活用に向けた活用事業者を公募・選定するなどの取組を予定していたが、コロナ禍の影響による経済状況の変化から、事業を見合わせている。今後、駅周辺地区の全体像や31街区の活用方法などを再検討のうえ、適切な時期に駅周辺地区のまちづくりを進め、成果指標の向上につなげる必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川駅周辺地区まちづくり推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
JR加古川駅周辺の市有地	区画	0	0	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
31街区における民間活用事業者の公募件数	件	0	0	0
活動指標分析結果	令和2年度に民間活用事業者の公募・選定を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、経済情勢の先行きが不透明となったため、当該年度の事業実施は見送ることとした。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
加古川駅周辺の都心としての魅力に関して満足している市民の割合	%	41.2	41.3	35.4	令和2年度	54
成果指標分析結果	平成28年度に大型商業施設のリニューアルや面的整備事業の進展等により、29年度には44%まで上昇。その後、41%台で推移していた。令和2年度はコロナ禍でのイベント減少や商業施設におけるにぎわい減少などから下降しており、目標到達に至らなかった。一方で、駅周辺でのマンション建設が進む状況も見受けられる。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成24年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	徐々にではあるが整理場の利用者は増加しており、駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。路側帯に停車し乗客を乗降させていたツアーバスなどは、加古川B.Pへのアクセスに便利な本施設を利用する車両が増え、安全性の向上が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川駅北ロータリーの混雑解消を図るため。
対象 ※誰、何に対して	加古川駅北ロータリーの利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川駅北ロータリーに隣接する31街区に自動車整理場を設置し、管理している。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	5,907千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,120千円
	一般財源	4,787千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	043 加古川駅北自動車整理場管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	5,502千円	5,868千円	5,907千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	整理場の適切な維持管理が行われている。また、平成29年度より利用料金の上限設定を行い、利便性の向上を図っている。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用数	台	206,227	224,695	163,466

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開場日数	日	365	365	365
活動指標分析結果	平成24年5月14日より供用を開始し、終日開業している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
1日当たりの整理場利用台数	台	565	615	447	令和2年度	534
成果指標分析結果	駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1日約168台減少した(平成31年度比較)。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	東加古川駅周辺整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市計画法

【事業概要】

現状と課題	JR東加古川駅周辺には踏切が近接して多数あり、踏切による渋滞や、歩行者や自転車の安全な通行が確保されていない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	東加古川駅付近の鉄道を高架化することで、近接する問題踏切等を除去することで、都市交通の円滑化を図り、併せて駅周辺市街地の活性化を図る。
対象 ※誰、何に対して	東加古川駅周辺
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	兵庫県が事業主体となる「東加古川駅周辺の連続立体交差事業」の実現に向け、必要となる経費に対し負担金を支払う。県・市役割分担の中、実現に向けた調査・設計を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	34,794 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	34,794 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	040 東加古川駅周辺整備事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	0 千円	34,794 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	引き続き幹線ネットワークの再編及び連続立体交差事業に伴う周辺まちづくりの方向性について検討・調査を進める。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	東加古川駅周辺整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
都市計画道路	m	69,430	69,880	70,330

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
関係機関と意見調整した回数	回	0	5	5
活動指標分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
都市計画道路見直し対象路線の抽出	式	0	1	1	令和2年度	1
成果指標分析結果						

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成5年度 ～ 令和5年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	土地区画整理法、東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行に関する条例

【事業概要】

現状と課題	都市計画道路・駅北広場が整備され通行車両及び駅利用者の利便性が向上した。仮換地の整備が済み、都市計画道路・区画道路に接した家屋の新築が進んでいる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	都市機能（生活環境・利便性・防災性）の充実を図ることにより、健全な市街地を形成する。都市計画道路・駅北広場・区画道路が整備されることにより、交通の利便性及び安全性の向上に繋がる。また、道路・公園が整備されることにより、居住環境及び防災性の向上が見込まれる。
対象 ※誰、何に対して	東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行区域内の関係権利者。加古川駅利用者、南北東西交通幹線道路の利用者など都心へのアクセスを目的とする車両等。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	土地区画整理事業計画に基づき、整備計画を立て進捗を図る。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	351,708 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	168,961 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	010 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	126,254 千円	45,939 千円	351,708 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	長年膠着状態であった物件移転補償交渉が進み、道路整備延長とともに目標値に着実に近づいている。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
都市計画道路整備延長	m	3,191	3,191	3,191
区画道路整備延長	m	3,486	3,591	3,740

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
物件移転補償件数	件	415	416	416
道路築造工事延長	m	6,677	6,782	6,931
活動指標分析結果	令和2年度は、物件移転補償契約が未成立のため件数は416件と不変。道路築造工事は、区画道路をL=149m整備した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
物件移転率	%	99	99	99	令和5年度	100
道路整備率	%	95	97	99.2	令和5年度	100
成果指標分析結果	物件移転補償率は99% (416 / 420件、残り4件)。道路整備率は99.2% (6,931 / 6,987m、残りL=56m) となった。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成30年度 ～ 令和10年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	寺家町周辺地区は、古くからの商業集積地として機能してきたが、接道条件の悪さや権利の複雑さなどが原因で個別の建物更新が困難となり、老朽木造家屋が密集している。従って災害時の安全な避難や消火活動に必要な空間や、火災時の延焼遮断機能が確保できないという問題を抱えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川駅南西地区における防災機能の確保と土地の合理的かつ健全な利用を図り、都心にふさわしい賑わいと住環境の創出を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川町篠原町および寺家町地区内（5.4ha）の権利者と居住者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	権利者を対象に、専門家によるまちづくり勉強会や個別ヒアリングを開催し、当該地区の課題解決策を住民主体で考える。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	3,520 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,520 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	005 中心市街地整備事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	100 千円	3,520 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成30年度から継続開催しているまちづくり勉強会は、令和2年度も計画通りの回数が開催され、事業組合設立に向けて予定通り進んでいる。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
まちづくり勉強会対象面積	m ²	2,741	2,741	2,741

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
まちづくり勉強会開催回数	回	0	2	3
活動指標分析結果	令和2年度は、まちづくり勉強会を予定通り3回開催し、目標を達成出来た。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
事業への同意率	%	0	0	48	令和6年度	100
成果指標分析結果	令和2年度の関係権利者を対象としたアンケートから、事業への同意率が48%であると判明した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成14年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川西地区
関連根拠法令等	宝殿駅南駐車場の設置及び管理に関する要綱

【事業概要】

現状と課題	宝殿駅南再開発事業を実施するまでの暫定的な措置として、平成14年度に駅南広場へ駐車場を整備し、管理運営を継続している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	宝殿駅の利便性を向上させるとともに、駅前広場内の渋滞緩和を図る。
対象 ※誰、何に対して	車で移動をしている宝殿駅及び駅周辺施設等利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	宝殿駅南に駐車場を設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	3,625 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,625 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	040 宝殿駅南駐車場管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	3,800 千円	3,889 千円	3,625 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、月平均1,000台以上の利用があり、駅及び周辺施設利用者が気軽に利用できる駐車場として定着しており、再開発事業が実施されるまでは継続していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
宝殿駅の利用者数	千人	7,142	7,097	5,290

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
駐車場収容台数(時間)	台	20	20	20
活動指標分析結果	20台の駐車枠を確保している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
1日平均駐車台数(時間)	台	39	36.7	20.4	令和2年度	37
成果指標分析結果	1日当たり約21台の利用があり、宝殿駅の利便性向上に寄与している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1日約15台減少した(平成31年度比較)。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成13年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	加古川市厄神自動車駐車場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

【事業概要】

現状と課題	平成17年頃に厄神駅西に民間駐車場が完成したことなどにより、厄神駅北駐車場の利用は平成21年度から減少に転じた。このため、パークアンドライド駐車場として利用しやすいよう、平成25年4月から時間貸し料金と駐車台数の内訳（定期80台+時間25台）の見直しを行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進、都心部への車流入の抑制、大気汚染の軽減を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	駐車場の設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	5,003 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,003 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	044 厄神駅北駐車場等管理事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	5,362 千円	5,196 千円	5,003 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、JR加古川線の利用促進を図るためのパークアンドライド駐車場として整備しており、地域住民に対し利用啓発・周知を行い、さらなる利用促進に努めていきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
厄神駅の利用者数	千人	623	609	485

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
駐車場収容台数（定期）	台	80	80	80
駐車場収容台数（時間）	台	25	25	25
活動指標分析結果	定期駐車と時間貸し駐車のを割合を適正に配分している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
月平均駐車台数（定期）	台	69	63.5	59.5	令和2年度	75
1日平均駐車台数（時間）	台	17.1	18	12.8	令和2年度	15
成果指標分析結果	定期駐車が月平均約60台、時間貸し駐車が1日平均約13台、月平均約390台の利用となっており、パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進に寄与している。（令和2年度においては新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が減少した。）					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	日岡駅舎等整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成30年度 ～ 令和5年度
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	駅舎リニューアルに向けてJRと協議しつつ取組を進めている状況である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	日岡山公園周辺地区の玄関口としてアクセス拠点としての機能充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	日岡駅の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	駅施設をリニューアルする。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	15,673 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	15,673 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	035 日岡駅舎等整備事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	4,968 千円	0 千円	15,673 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駅舎リニューアルに向け、JRや地域との協議を進める。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	日岡駅舎等整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日岡駅の利用者数	千人	445	463	369

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
整備基本計画の進捗率	%	100	100	100
基本・実施設計の進捗率	%	0	0	50
工事の進捗率	%	0	0	0
活動指標分析結果	J R西日本との協議により、駅舎新築から改修へ方針変更したことに伴い、令和2年度に基本設計業務と耐震診断及び耐震改修方針検討業務を実施。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
日岡駅の利用者数	人	445,665	463,000	369,000	令和6年度	450,000
成果指標分析結果	令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者数が減少している。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 令和2年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	道路法

【事業概要】

現状と課題	J R 厄神駅へのアクセスの改善のため、平成23年度から、道路拡幅整備事業に着手している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	J R 厄神駅へのアクセスの改善を行い、同駅の利便性の向上と J R 加古川線の利用促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅周辺（八幡町・上荘町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	J R 厄神駅への主要アクセス道路の整備工事を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	27,189 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	24,400 千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,789 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	031 厄神駅周辺整備事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	35,043 千円	17,200 千円	27,189 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和2年度に着手した道路整備工事は、予定通り完了した。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
厄神駅周辺(八幡町・上荘町)の住民	人	9,328	9,532	9,228

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m	460	665	755
活動指標分析結果	令和2年度は下村3号線と国包37号線の道路拡幅工事(L=90m)を実施し、道路整備延長の合計がL=755mとなった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	54	78	89.3	令和2年度	100
厄神駅の利用者数	千人・年	623	609	485	令和2年度	600
成果指標分析結果	事業進捗率は89.3%となった。厄神駅の利用者は、平成20年度の三木鉄道廃止後ほぼ横ばいで推移していたが、令和1年度から減少傾向である。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	自転車対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路法、（通称）自転車法、加古川市自転車等の放置の防止に関する条例

【事業概要】

現状と課題	加古川市自転車等の放置の防止に関する条例の施行と併せて、自転車等放置禁止区域を指定し、原則として即日撤去を実施することで歩行者等の通行の安全の確保や防災活動の円滑化、まちの美観の確保が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能の確保を図ることで、美しいまちなみの保全を図る。
対象 ※誰、何に対して	交通手段として自転車を使用する市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各鉄道駅周辺に有料及び無料駐輪場を整備し、自転車の放置に対する指導啓発及び条例に基づく放置自転車の撤去、移送等による駐輪マナーの向上を図るとともに、駐輪場の確保、維持管理を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	47,486 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,414 千円
	一般財源	46,072 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	010 自転車対策事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	48,045 千円	46,625 千円	47,486 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業のPR等で自転車の放置禁止は、市民に浸透してきているが、加古川駅周辺への公共施設移転に伴い、指導員の配置について検討している。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	自転車対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市内の自転車防犯登録台数	台	17,747	17,705	17,228

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
放置自転車等撤去台数	台	1,543	1,636	1,020
有料駐輪場利用率	%	65.9	66	56.8
活動指標分析結果	鉄道駅における有料・無料駐輪場について、必要台数の確保は十分に図られている。令和元年度は好天が多く撤去台数が増加したが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で外出自粛の影響を多く受けた。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
撤去自転車等減少率(対前年比)	%	89	106	62.3	令和4年度	95
成果指標分析結果	駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能確保を図るため放置自転車の撤去を実施することで、美しいまちなみの保全も図られている。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	東加古川駅第一自転車駐車場管理運営事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	令和2年度 ～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	定員に対して利用者が少なく、管理員が常駐するだけの収入がない。しかし、近隣の民業圧迫となるため、使用料の値下げは困難である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	使用料収入の範囲で運営し、駅周辺の道路や駅前広場などの公共スペースに自転車が放置されないようにする。
対象 ※誰、何に対して	東加古川駅の利用者で、自転車で通勤、通学する者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	有料自転車駐車場である、加古川市立東加古川駅第一自転車駐車場の管理・運営を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	1,474 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,474 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	010 自転車対策事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	0 千円	1,474 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	収入の範囲で今後も運営を継続していく。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	東加古川駅第一自転車駐車場管理運営事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
駐輪場利用者数	人	0	0	65

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規申込者数	人	0	0	95
活動指標分析結果	新規利用者は年間10人の獲得を目指す。令和2年度は延べ95人の利用があったが、新型コロナウイルスの影響によるとみられる解約も多かった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
駐輪場利用率	%	0	0	19	令和5年度	23
成果指標分析結果	利用者は概ね譲渡前と大きな変化がなく、収入の範囲で運営できた。					